

# シネマトーラス上映スケジュール 6月22日(土)～8月2日(金)

6月休館日：6/3(月)・6/10(月)・11(火)・6/17(月)・6/24(月)・25(火)  
7月休館日：7/1(月)・7/8(月)・9(火)・7/16(火)・7/22(月)・23(火)・7/29(月)

## 夜明けのすべて

6月22日(土)～6月28日(金)

2024年/1191分/日本

PMS(月経前症候群)のせいで月に1度イライラを抑えられなくなる藤沢さんは、会社の同僚・山添くんのある行動がきっかけで怒りを爆発させてしまう。転職してきたばかりなのにやる気なさそうに見える山添くんだったが、そんな彼もまた、パニック障害を抱え生きがいも気力も失っていた。職場の人たちの理解に支えられながら過ごす中で、藤沢さんと山添くんの間には、恋人でも友達でもない同志のような特別な感情が芽生えはじめる。やがて2人は、自分の症状は改善されなくても相手を助けることはできるのではないかと考えるようになる。



## フジコ・ヘミングの時間

6月22日(土)～6月28日(土)

フジコ・ヘミング  
追悼上映

2018年/115分/日本

日本人ピアニストの母とロシア系スウェーデン人のデザイナーである父との間に生まれ、母の手ほどきによって5歳からピアノを習いはじめたフジコ。やがて演奏家として高い評価を受けるようになるが、大事なリサイタルの前に聴力を失うという大きなアクシデントに見舞われるなど、数奇な人生を歩んできた。1999年にNHKで放送されたドキュメント番組によって日本でも広く知られるようになったフジコ、初のドキュメンタリー映画となる今作では、ワールドツアーで世界を巡って演奏する姿や、自宅で愛する猫に囲まれて過ごす時間など、素顔に密着。



## 関心領域

6月29日(土)～7月12日(金)

2023年/105分/アメリカ・イギリス・ポーランド

ホロコーストや強制労働によりユダヤ人を中心に多くの人びとを死に至らしめたアウシュビッツ強制収容所の隣で平和な生活を送る一家の日々の営みを描く。タイトルの「The Zone of Interest(関心領域)」は、第2次世界大戦中、ナチス親衛隊がポーランド・オシフィエンチム郊外にあるアウシュビッツ強制収容所群を取り囲む40平方キロメートルの地域を表現するために使った言葉で、映画の中では強制収容所と壁一枚隔った屋敷に住む収容所の所長とその家族の暮らしを描いていく。



## 本年度アカデミー賞国際長編映画賞 音響賞受賞

## デッドデッドデーモンズ デデデデストラクション 後章

2024年/120分/日本

同名コミックをアニメーション映画化した2部作の後編。入試に合格して亜衣や凜と同じ大学に通い始めた門出と凰蘭は、竹本ふたばや田井沼マコトという新しい友だちもでき、尾城先輩が会長を務めるオカルト研究会に入ること。一方、宇宙からの侵略者は東京各地で目撃され、自衛隊が駆除活動を繰り返していた。上空の母艦は傾いて煙が立ち上り、政府転覆を狙った侵略者狩りを続ける過激派グループ「青共闘」も暗躍。世界の終わりに向かってカウントダウンが始まるなか、凰蘭は不思議な少年・大葉に再び遭遇する。



## わたくしどもは

6月29日(土)～7月12日(金)

2023年/101分/日本

小松菜奈と松田龍平が共演し、新潟・佐渡島を舞台に記憶を失った男女の謎めいた過去と運命を描いたドラマ。佐渡島の金山跡地で目を覚ました女。過去の記憶がない彼女は清掃員の女キキに助けられ、キキがアカとクロという女の子と暮らす家に運ばれる。自分の名前すら思い出せない女はミドリと名付けられ、キキと一緒に清掃員として働き始める。そこで警備員の男アオと出会ったミドリは、彼もまた過去の記憶がないことを知り、次第にひかれ合っていくが……。



## お終活 再春！人生ラプソディ

7月6日(土)～7月19日(金)

2024年/118分/日本

「結婚50年の金婚式を迎えた大原千賀子と真一。ひとり娘の亜矢はキッチンカー運営から高級介護施設の栄養士に転職し、恋人の菅野涼太との結婚も目前に控えている。順風満帆な大原家だったが、ある日、真一に認知症の疑惑が持ち上がる。その一方で、千賀子は若い頃に習っていたシャンソンの恩師の娘・丸山英恵との出会いをきっかけに、再びレッスンに通い始める。音楽ライブプロデューサーでもある英恵からコンサート出演を勧められて張り切る千賀子だったが、コンサート目前に開催が危うくなり……。



## あんのこと

7月6日(土)～7月19日(金)

2024年/113分/日本

売春や麻薬の常習犯である21歳の香川杏は、ホステスの母親と足の悪い祖母と3人で暮らしている。子ども頃から酔った母親に殴られて育った彼女は、小学4年生から不登校となり、12歳の時に母親の紹介で初めて体を売った。人情味あふれる刑事・多々羅との出会いをきっかけに更生の道を歩み出した杏は、多々羅や彼の友人であるジャーナリスト・桐野の助けを借りながら、新たな仕事や住まいを探し始める。しかし突然のコロナ禍によって3人はすれ違い、それぞれが孤独と不安に直面していく。



## 告白 コンフィッション

7月13日(土)～7月26日(金)

2024年/74分/日本

大学山岳部のOBで親友の浅井とジョンは、16年前の大学卒業登山中に行方不明となり事故死とされた同級生・西田さゆりの17回忌の慰霊登山にかけつけるが、猛吹雪で遭難してしまう。脚に怪我を負ったジョンは自分の死を確信し、16年前に自分がさゆりを殺害したと浅井に告白。自身の犯した罪に苛まれ続けてきたジョンは苦しみから解放され安堵するが、その直後、眼前に山小屋が出現し、2人は命を取り留める。親友の最後の告白を聞いてしまった男と、うっかり言ってしまった男。薄暗い山小屋で救助隊の到着を待つなか、2人の間には気まずく不穏な空気が流れ始める。

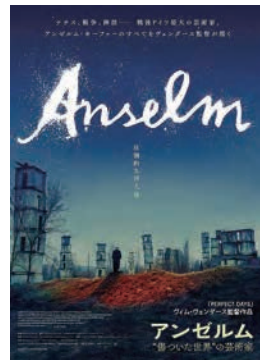


## アンゼルム “傷ついた世界”の芸術家

7月13日(土)～7月26日(金)

2023年/93分/ドイツ

ベンダース監督と同じ1945年にドイツに生まれたアンゼルム・キプファーは、ナチスや戦争、神話を題材に、絵画、彫刻、建築など多彩な表現で作品を創造してきた。初期の創作活動では、ナチスの暗い歴史から目を背けようとする世論に反してナチス式の敬礼を模倣する作品をつくるなどタブーに挑み、美術界から反発を受けながらも注目を集めた。71年からはフランスに拠点を移し、薬や生地を素材に歴史や哲学、詩、聖書の世界を創作。作品を通して戦後ドイツと「死」に向き合い、傷ついたものへの鎮魂を捧げ続けている。



## かくしごと

7月26日(土)～8月2日(金)

2024年/128分/日本

絵本作家の千紗子は、長年にわたって絶縁状態となっていた父・孝蔵が認知症を発症したため、仕方なく故郷へ戻って介護をする。他人のような父との同居に辟易する日々を過ごしていたある日、彼女は事故で記憶を失った少年を助ける。その少年の身体に虐待の痕跡を見つけた千紗子は少年を守るため、自分が母だと嘘をついて一緒に暮らし始める。認知症が進む父と3人で、最初はぎこちないながらも次第に心を通わせ、新しい家族のかたちを育んでいく千紗子たちだったが……。



## アイアム・ア・コメディアン

7月26日(土)～8月2日(金)

2022年/108分/日本・韓国

ネットや芸芸番組での政治的な発言などから「嫌われ芸人」炎上芸人などと揶揄され、テレビでその姿を見ることがなくなったウーマンラッシュアワーの村本大輔。テレビに自身の居場所を失った彼は、活動の中心を劇場やライブに移し、自身の求める笑い「スタンダップコメディ」を追求する。日本全国で年間約600ステージをこなし、ニューヨークでの武者修行にも挑む村本。每晚コメディクラブに出でネタを磨く姿やさまざまな人との出会い、パンデミック禍の苦悩、家族との関係など、マスコミの最前線からは姿を消しながらも、人生を真摯にコメディに振り絞る芸人・村本大輔の3年間をカメラが追っていく。



## 再会長江

7月20日(土)～8月2日(金)

2024年/111分/中国

広大な中国大陸を横断するアジア最大の大河・長江。竹内監督は10年前にNHKの番組で長江を撮影した際、北極・南極に次ぐ「地球第3の極地」と呼ばれるチベット高原にある「長江源流の最初の一滴」を撮影できなかったことを後悔していた。その後、日本から中国南京市に移住した竹内監督は、2021年から2年をかけて長江6300キロをたどる旅に出る。道中で10年前に撮影した友人たちと再会しながら、長江を通して中国の10年の変化を見つめ、今度こそ「最初の一滴」を記録するべく源流を目指す。



シニア料金(60歳以上)	1300円
レディースティ(毎週木曜日)	1300円
映画の日(毎月1日の日)	1300円
モーニング割引(平日の朝1回目の上映)	1500円

夫婦50割引(ご夫婦どちらか50歳以上)	お二人で2600円
一般会員(年会費 3000円)	入場料金1100円
バリュー会員(年会費11000円)	映画ギフト券10枚(1年間有効)